

大雪に伴う被害防止対策について

気 象 災 害 対 策
平成30年2月5日
中央普及支援センター

2月5日に金沢地方気象台から「大雪と高波に関する石川県気象情報 第5号」が発表されました。

石川県では、8日頃にかけて、平地でも大雪となるおそれがあります。また、強い寒気の影響で気温が低下し、8日頃にかけて最高気温・最低気温ともに平年よりかなり低くなる日がある見込みです。

今後、気象台が発表する気象情報や注意報・警報に留意するとともに、次の事項に注意して施設などへの被害防止に努めて下さい。

〔ビニールハウス〕

- (1) ハウスは筋交い、中柱等で補強する。その際、ハウスが降雪後にねじれないように補強は左右対称とする。ただし、既に降雪があり倒壊のおそれがある場合は、安全のため作業は行わない。
- (2) ハウスの隣棟間隔が狭いとき（間口の1/2以下）は、1棟おきにビニールフィルムをはずし、雪の堆積場とする。
- (3) 側壁に堆積した雪を融雪するため、側壁散水パイプを設置する。散水施設を設置できない場合は、かん水チューブを堆積した雪の上にセットできるように準備する。
- (4) ビニールのバタつきを防ぐためにハウスバンドを締め直すなど点検・整備する。また、ビニールが破損している部分は補修し、内部に風が吹き込まないようにする。

〔大麦〕

- (1) 融雪水による根腐れ等の湿害が起きやすいので、消雪後に排水溝の手直しや排水口への繋ぎ等の整備を行ない、速やかな排水に努める。

〔果樹〕

- (1) 樹体や果樹棚を支柱等で補強する。特に、粗剪定が終了していない園や主枝や亜主枝が長大化している園では、雪の重みによる枝裂けや棚の倒壊が起きやすいので対策を徹底する。
- (2) 冠雪が50cmを越えると被害が出やすいので、降雪量を見ながら着雪

の払い落としを行う。

[畜産]

- (1) 畜舎等の施設点検を行い、老朽化等により倒壊の恐れがある場合は必要に応じて補強等を行うとともに、屋根の雪下ろしを行う。畜舎の周囲では、飼料運搬車等の車両通行を確保するための除雪に努める。
- (2) 停電等緊急時に備え、自家発電機の準備、点検を行う。また、交通の遮断等非常事態に備えて、飼料の在庫確認と購入手当を早めに行い、粗飼料なども含めて給与する飼料が急変しないよう留意する。

なお、雪害に対する被害防止対策については、気象災害対策マニュアル（平成20年3月発行）を参考にして下さい。

大雪と高波に関する石川県気象情報 第5号

平成30年2月5日06時08分 金沢地方気象台発表

(見出し)

冬型の気圧配置となり、強い寒気が流れ込む見込みです。このため、石川県では6日にかけて大雪となるおそれがあります。大雪による交通障害、高波に警戒してください。

(本文)

[要因]

8日頃にかけて、日本付近の上空約1500メートルに氷点下12度以下の寒気が流れ込み、強い寒気の影響を受けるでしょう。

このため、石川県では、8日頃にかけて、山地に加え平地でも大雪となるおそれがあります。また、強い寒気の影響で気温が低下し、8日頃にかけて最高気温・最低気温ともに平年よりかなり低くなる日がある見込みです。

[雪の予想]

石川県では、6日にかけて大雪となる見込みです。

6日6時までの24時間降雪量は、多い所で、

加賀 平地 50センチ 山地 60センチ

能登 平地 50センチ 山地 60センチ

の見込みです。

その後、8日にかけて、降雪量は更に増える見込みです。

[波の予想]

石川県の海上では、6日にかけて、うねりを伴いしける所があるでしょう。

6日にかけて予想される波の高さは、

加賀 4メートル

能登 5メートル

の見込みです。

[防災事項]

石川県では、6日にかけて大雪による交通障害、高波に警戒してください。

雪を伴った強風、電線や樹木への着雪、低温による水道管の凍結、落雷、突風にも注意してください。

[特記事項]

この情報は、「高波と大雪及び風雪に関する石川県気象情報 第4号」を引き継ぐものです。

今後、気象台の発表する警報、注意報、気象情報に留意してください。

[情報の発表予定]

次の「大雪と高波に関する石川県気象情報」は、5日17時頃に発表する予定です。